

シルバーかまいし



平成 29 年
1 月 15 日 号

第 63 号

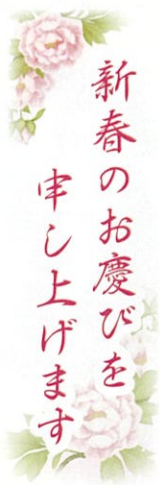
発 行

公益社団法人
釜石市シルバー人材センター
〒026-0013
釜石市浜町1-1-1 市営釜石ビル201号
電話 (0193) 22-2182
FAX (0193) 22-2169
E-mail k.silver@wonder.ocn.ne.jp
http://www.webkic.co.jp/k.silver/



夏休み親子工作教室

嘱 託 員	嘱 託 員	経 理 担 当	業 務 主 事	経 理 係 長	次 長	兼 常 務 理 事 局 長	常 務 理 事	監 事	"	"	"	"	"	"	"	理 事	副 理 事 長	理 事 長
佐 々 木	沖 寿 雄	中 軽 米 美 千 子	小 岩 真 吾	前 川 英 之	小 笠 原 弘 幸	菊 池 郁 夫	菊 池 俊 二	菊 池 輝 明	佐 々 木 道 典	佐 藤 力	砂 子 一 二 己	石 川 順 子	田 澤 ひろ 子	佐 々 木 郁 子	新 田 實	佐 々 木 啓 二	矢 浦 一 衛	檜 山 憲 作



年頭にあたり

理事長 榎山 憲作



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては初春をお健やかに迎えのことと存じます。又、平素より当センターの運営にご尽力いただいておりますこと、心より御礼申し上げます。

さて、昨年は台風十号が第七十一回国民体育大会直前に当県沿岸部を直撃し、特に県北部においては大きな被害に見舞われました。当市においても大雨による河川氾濫で、道路の崩落が発生するなど、大震災の復興工事と共に未だ復旧工事が続いており、早期の復旧、復興が望まれるところであります。

現在、国においては減少傾向にある人口や、進行する高齢社会などを見据え、「生涯現役社会」の実現を目標に掲げ、諸政策を打ち出しているところであり、その重要な担い手として我々のシルバー人材センターの活躍が期待されているところであります。

しかしながら当地域の状況は生活習慣の多様化や高止まりする求人倍率などを背景に、事業の根幹である人材（会員）の確保が難しい状況となっております。センターにおいても、チラシの全戸配布やPR活動などを行い、入会促進に努めているところではありますが、依然として横ばい状況が続いております。当センターが地域にとって更に必要とされ、高齢者にとっても魅力あるものとなるよう、より一層の更なる努力が求められているものと思えます。

結びに、日頃ご指導いただいております市ご当局始め、関係機関、市民各位に感謝申し上げますとともに、会員の皆様の健康と御多幸をお祈り申し上げ、新年の御挨拶といたします。

市長要請活動

9月1日、榎山理事長と岩手県シルバー人材センター連合会久慈事務局長が釜石市市役所を訪問しました。公務の不在であった野田市長の代理として山崎副市長に應對していただき、シルバー人材センター事業への補助金の確保と公共事業の発注を要請し、文書を手渡しました。当センターの契約金額に占める公共事業の割合は二割強であり、釜石市は最も大口の発注者です。また日頃からセンターの運営に関して指導をいただいております。センターの安定的な運営に市当局の協力は不可欠です。今後とも連携を密にして事業を行っていきたいと考えています。



夏休み親子工作教室

8月11日、イオンタウン釜石、イオンタウンホールにおいて「夏休み親子工作教室」が開催されました。小学1年生から3年生までの児童7名とその保護者が参加して、当センターの栗沢康夫会員を講師に、木製のダストボックスを作成しました。子供たちが、慣れない手つきでノコギリや釘を使いながら一生懸命作業する姿は微笑ましく、保護者と協力して参加者全員が無事作品を完成させて、子供たちは笑顔を、保護者の方々は安堵の表情を浮かべていました。

公益社団法人である当センターには、高齢者の就業の場を確保することのみならず、広く地域社会へ貢献することが求められています。日頃の事業運営においては、その対象が地域の高齢者に偏りがちですが、活動を継続して、より幅広い年齢層の市民の方々に、センターの事業が貢献できるよう努めていきたいと考えています。



新入会員の紹介 (28年7月～12月入会) 敬称略

甲子第1地区	平野 英雄	定内地区	千葉 初彦
甲子第2地区	佐々木 易子	中妻地区	金濱 豊
甲子第2地区	八重樫 邦子	中妻地区	瀬尾 直樹
甲子第3地区	鈴木 光幸	大町地区	大河内 静子
野田地区	川畑 眞理子	平田地区	眞山 清
野田地区	清水 志美子	平田地区	松井 敏夫
定内地区	昆野 忠彰	鵜住居地区	八幡 一義



シルバー人材センター法制化30周年記念事業



昨年、シルバー人材センター事業は事業法制化30周年を迎え、10月の普及啓発促進月間に合わせて、全国各地のシルバー人材センターがPR活動や奉仕活動を行いました。当センターでも10月15日、会員、役職員がイオンタウン釜石前に集合し、店舗周辺でのチラシ配布と、商店街周辺の清掃奉仕活動を行いました。天候にも恵まれ、65名の参加者が地域の美化の為、センター活動のPRの為に汗を流しました。参加者の皆さんご協力ありがとうございました。



高齢者活躍人材育成事業



岩手県シルバー人材センター連合会の主催する「高齢者活躍人材育成事業」が、8月末から12月初頭まで県内各地で開催されました。現役世代の人手不足分野を補う高齢者を育成することが目的で、釜石市でも10月18日に三陸自動車学校で「安全運転講習」、10月21日にはアミーガはまゆりで「介護補助講習」がそれぞれ開催され、どちらの講習にも当センターの会員10名が参加しました。

「安全運転講習」には主に自動車運転の就業を行っている会員が参加し、日頃路上に潜む危険の検証や、運転技術の再確認を行いました。「介護補助講習」では車椅子や杖を使う高齢者の移動補助の実技を行いました。どちらも実用的な講習で今後の就業に役立つものであったと思います。

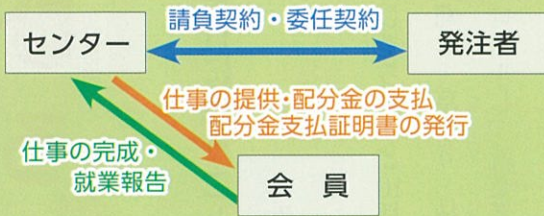


シルバー人材センターにおける就業形態について

シルバー人材センターを通じた就業は以下の3つに大別されます

●受託事業

請負契約、委任契約による就業で、皆さんの就業の大部分がこれに該当します。請負であれば作業の完成をもって、委任であれば一定の仕事を行うことでセンターより配分金が支払われます。どちらの場合であってもセンター、会員、発注者の間に雇用関係は発生せず、発注者は会員に指揮命令を行うことはできません。



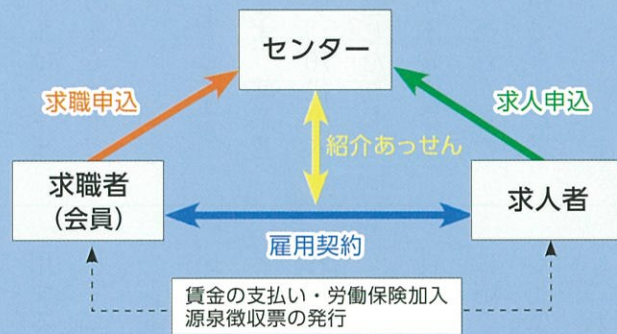
●シルバー派遣事業

当センターでは一部の店舗清掃・車両の運転で働く方がこれに該当します。(公社)岩手県シルバー人材センター連合会に雇用された当センターの会員が、就業先に派遣され指揮命令を受けて働きます。その対価は賃金として(公社)岩手県シルバー人材センター連合会より支払われます。



●有料職業紹介事業

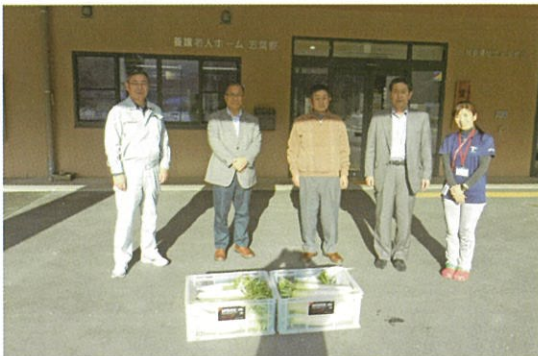
当センターでは一部の車両運転、屋内作業に就業する方が該当します。センターは求人者に対し求職会員を紹介あっせんし、会員は求人者と直接雇用契約を結ぶことから賃金は直接求人者から支払われます。



大根寄贈



11月14日、福祉家事育児部会の佐々木道典理事と、「シルバー農園」の作業を行っている林崎時男さんが「養護老人ホーム五葉寮」と「介護老人福祉施設三峯の杜」を訪問し、農園で栽培した大根を寄贈しました。昨年秋は全国的に野菜価格が高騰しており、どちらの施設でも非常に喜ばれました。昨年に引き続きの活動となりましたが、地域社会への貢献の為、今後も継続していきたいと考えています。



会員のひろば



入会して2年目に思うこと

佐々木 功

釜石市シルバー人材センターに入会してちょうど10月で1年が経ちました。センターでの業務は、主に、草刈り・草取り・植木の剪定作業が安全に就業できるように、現場をパトロールし、就業者のサポートをすることです。入会して業務の説明を受けた時、安全パトロールは、今まで勤めていた職場での経験を活かすことができるやりがいのある仕事だと思いました。

パトロールする現場は、1グループの人員が1名の時もありますが、通常は2名から3名です、多い時には6人ぐらいにもなります。就業者の年齢は70代が多いのですが、たまに80代の人が就業します。70代の人達が斜面で草刈機を使用し作業する姿はエネルギー感を感じたりもします。自分が70代になったときと同じようなことができるか不安になりますが、健康であればできるのか、良い目標にもなります。これからの高齢化社会に生きがいがあるか、良い目標にもなり得るかと期待ができると思っています。

就業場所は住宅の庭、山林、公園、法面、駐車場、空地などいろいろなところとなり、遠くは橋野町、尾崎白浜、唐丹町まで出かけます。

高齢者だけの就業、草刈り・草取り・植木の剪定作業は未経験で、どのようなパトロールのしかたをしたら良いのか考えましたが、次のふたつのことを重点に取り組むことにしました。ひとつは、不幸にして災害があった場合、頭を負傷すると重篤事故につながるから「脚立を使用する作業と刈払い機を使用する作業では、ヘルメットを必ず着用すること」。もうひとつは、昨年前半、飛散物による車輛のガラス、公共設備のガラス等の物損事故が多かったことから「刈払い機使用時の飛散防止対策、養生を実施すること」としました。

パトロールの状況ですが「ヘルメットを必ず着用すること」については、最初は未着用者が多く見られましたが、いまではほぼ全員が着用するようになりました。夏の炎天下の中でも着用しきちつと顎紐をして、汗をふきながら作業している人もおり、頭のさがる思いがします。「飛散防止対策、養生を実施すること」については、就業場所もいろいろあり養生材が現地にあつたものがなく、完全な養生とは言えないところが出たりもしますが、工夫してやられております。養生材がどれだけ準備できるかが、今後の課題とします。

パトロールのふたつの取組みは定着してきました。安全は、今日が良いから明日も良いということにはならないとよく言います。その場に応じた具体的な安全対策を実施する努力が良い結果につながっていくと思えます。

これからも健康に留意し、安全に就業できるよう現場パトロールを行い、事故防止に努めていきたいと思っておりますので宜しくお願いします。



利用者さんの日々を思う

小笠原 みき子

今、私は充実した日々を送ることができていると思います。まずは健康であること、それから仕事（社会参加）があること、そして趣味（ストレス解消と体力作り）もあります。

シルバー人材センターにお世話になって一年九ヶ月になりますが、その前に同じ内容の仕事を五年間やっていたので、シルバー七年目のような気持ちでやっています。

私の仕事は個人の家庭の掃除と炊事補助、雑用ですが、料理の得意な利用者さんには料理や漬けものの漬け方をお手伝いしながら教えていただきました。お話の好きな方は自分史を語ってくれますので、そこからいろいろな生き方なども感じ取ることが出来ます。

また、八十四歳で女学校時代の同級生四～五人と年に二回、温泉に泊まりに行くという利用者さんがいます。全員が杖を使用しているとのことですが、釜石駅や小佐野駅など最寄りの駅から乗り合わせ、花巻駅から送迎バスを利用し二泊して、いつも「これが最後かも」と口では言いながら次回の約束までしてくるの、と笑って聞かせてくれます。

こんなふうに元気に前向きに年を重ねたいものだと思います。

利用者さんは皆さん高齢の方ですので、やがて自分の行く道…と違って仕事させていただいていきます。

あと何年働けるか分かりませんが、生活にメリハリをつける為にも、もう少しシルバーさんにはお世話になりたいと思っています。



就 業 風 景



剪定



施設管理



大工仕事



プランター設置



草刈



整地

事務局だより

○地区懇談会開催について

以下の日程で地区懇談会を開催いたしますので電話連絡の上ご参加下さい。

◆甲子第1、第2、第3、野田地区

2月8日(水) 14時00分～ 会場 洞関センター

◆大町、嬉石、鶉住居、栗橋地区

2月9日(木) 14時00分～ 会場 情報交流センター2階会議室(ミッフィーカフェ2F)

◆平田、唐丹地区

2月14日(火) 14時00分～ 会場 上平田ニュータウン集会所

◆定内、小佐野、小川第1、第2、上中島、中妻地区

2月15日(水) 14時00分～ 会場 昭和園クラブハウス

○講習会の開催について

以下の日程で講習会を開催いたしますので電話連絡の上ご参加ください。

◆書初め講習会

日時 1月25日(水) 26日(木) 両日とも13時30分～15時

会場 昭和園クラブハウス

◆スカットボール体験講習会

日時 2月17日(金) 13時30分～15時

会場 イオンタウンホール



○緊急警報発令時について

津波警報等が発令された際には事務局員も避難しております。各警報等が解除となるまで海岸には近よらず、避難対象地域での就業、通行も自重して下さい。

○チップ・腐葉土の無償配布について

剪定枝等をチップ化したものを無償にて配布します。ご希望の方は事務局までご連絡下さい。

会員数 12月末現在

359名

(男 291名) (女 68名)

就業実人員

228名

就業率

63.5%



シルバーくん

編集後記

昨年はリオデジャネイロ五輪、岩手国体が開催され、スポーツを観戦する機会が多く、身も心も若返ったような気になったものでした。日本選手団、岩手県選手団の活躍に一喜一憂し、五輪期間中は夜更かしされた方も多かったのではないのでしょうか。

しかしながら寒くなる今時期は、家の中に閉じこもりがちになります。2月17日開催予定のスカットボールにご参加いかがですか。

会報部会